

<イベント実施レポート>

日経電子版オンラインセミナー

『世界糖尿病デーに考える～食と健康の新しい学び～』

江崎グリコ株式会社 執行役員・木村幸生が登壇しました

江崎グリコ株式会社は、11月14日（月）に開催された日経電子版オンラインセミナー『世界糖尿病デーに考える～食と健康の新しい学び～』に協賛し、当社執行役員・木村幸生が同セミナーに登壇いたしました。世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日である世界糖尿病デーを契機に、国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター長の杉本先生が基調講演し、食と健康について学びを深めました。



オンラインセミナー当日の様子

※配信会場では、パーテーションを設置して距離を確保するなど、ソーシャルディスタンスに対応しながら実施しました。

■ 実施概要

- 【開催日時】 2022年11月14日（月） 18:30～20:05
- 【タイトル】 『世界糖尿病デーに考える～食と健康の新しい学び～』
- 【登壇者】 大杉 満氏（国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター長）
藤本 なおよ氏（ローカーボ料理研究家）
本田 朋子氏（フリーアナウンサー）
西沢 邦浩氏（日経BP 総合研究所 客員研究員）
木村 幸生（江崎グリコ株式会社 執行役員 健康事業マーケティング部
カテゴリーマネージャー 兼 クロスリージョナル・ブランドリーダー）

■セミナー内容

【基調講演】

「日本の糖尿病対策のこれから」

大杉 満氏（国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター長）

糖尿病の基礎知識から最新の治療法についてご講演いただきました。糖尿病予備群段階では自覚症状が現れにくく、それが要因で対処が遅れてしまい、様々な合併症のリスクが高まることを踏まえ、早期治療や予防の重要性についてお話しいただきました。また、日本の最新の治療法も紹介していただき、必要以上に恐れることなく早めの対処を行うことを呼びかけました。



大杉 満氏（国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター長）

【トークセッション】

「おいしく・楽しく・健康を目指す ～始めよう！「糖質」を意識した食生活～」

大杉 満氏（国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター長）

藤本 なおよ氏（ローカーボ料理研究家）

本田 朋子氏（フリーアナウンサー）

モデレーター：西沢 邦浩氏（日経BP 総合研究所 客員研究員）

日常生活でも実践しやすい、糖質を意識した食生活についてお話しいただきました。ローカーボ料理研究家の藤本氏から、適正糖質※を目指す、和・洋それぞれの献立を実際に調理いただき、糖質コントロールに有効な食材や食べ方について学びました。

※一般社団法人「食・楽・健康協会」は1食で摂取する糖質量を20～40g、間食では10g以下にする「適正糖質」を提唱しています。



藤本 なおよ氏（ローカーボ料理研究家）



本田 朋子氏（フリーアナウンサー）



和食の献立

(もち麦ご飯/味噌汁/照り焼きチキン/小鉢/抹茶のティラミス)



洋食の献立

(えびとトマトのパスタ/シーザーサラダ/豆腐のティラミス)

【クロージングリマークス】

「江崎グリコの健康事業について」

木村 幸生（江崎グリコ株式会社 執行役員 健康事業マーケティング部
カテゴリーマネージャー 兼 クロスリージョナル・ブランドリーダー）

Glicoの創業商品である栄養菓子「グリコ」は、国民の体位向上に貢献したいという創業者の想いから生まれました。私たちは時代が変化しても変わることなく「事業を通じて社会に貢献すること」を使命としております。その取り組みの一つとして、糖尿病の無い世界を目指して、世界糖尿病デーの取組みを積極的に行っております。大阪道頓堀のグリコサインに世界糖尿病デーを応援する特別仕様のサインージュ掲出による認知拡大活動や、会員サイト「with Glico」の会員に向けた「糖質コントロール」について楽しく学べるファンミーティングの開催などを行っております。



木村 幸生

(江崎グリコ株式会社 執行役員 健康事業マーケティング部カテゴリーマネージャー 兼 クロスリージョナル・ブランドリーダー)

Glicoグループは、これからも“事業を通じ社会に貢献すること”を使命に、ココロとカラダの健康につながる商品・サービスをお届けし続けてまいります。